

令和 8 年度 第 2 回 長谷地域協議会会議録

開 催 日	令和 8 年 7 月 29 日（水）					
開 催 時 間	開 会	午後 6 時 30 分		閉 会	午後 7 時 35 分	
開 催 場 所	長谷総合支所 会議室					
地域協議会 委員の出欠 出席 18 人 欠席 2 人	番号	委員氏名	出欠	番号	委員氏名	出欠
	1	北原 隆		11	川畑 幸英	
	2	伊藤 信人		12	北原 茂人	
	3	中山 義文		13	伊澤 隆一	欠
	4	宮下 久		14	宮下 福博	
	5	中村 徳彦		15	畠中 愛	欠
	6	宮下 忠文		16	伊藤 由美子	
	7	中山 嘉彦		17	長石 容子	
	8	伊藤 博文		18	宮下 雅好	
	9	中山 俊博		19	中山 茂晴	
	10	小松 賢一		20	羽場 友理枝	
署 名 委 員	2 番	伊藤 信人		12 番	北原 茂人	
委員以外の 出席者	伊那市議会議員：中山 勝司（オブザーバー） （長谷総合支所） 総合支所長：下島 聡、総務課長兼市民福祉課長：宮下剛志、 農林建設課長：竹中康仁、南アルプス課長：伊藤保人、 高遠教育振興係長兼長谷教育振興係長：池上祐一 総務係長：唐木 学、自治会コーディネーター：橋爪洋郎、 長谷くらし応援隊：手塚ほたる （本庁） 健康推進課長：北原教正、生涯学習課長：柴 千恵美					
会議事項	報告事項 （1）美和診療所医師住宅について （2）孝行猿資料館の移設について （3）令和 8 年度協働のまちづくり交付金事業の審査結果について 協議事項 （1）杉島区の住民規模に見合った組織への移行について （2）その他 委員提案 ・クイーンラインの名称変更について					

会議提出資料	1 美和診療所医師住宅について 2 入野谷の孝行猿資料館について 3 令和8年度 伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 4 伊那市協働のまちづくり交付金事業 審査結果 5 長谷地域協議会における協議事項提案書 6 長谷地域協議会委員からの提案事項 7 杉島区の住民規模に見合った組織への移行について意見収集
1 開会 2 あいさつ 小松会長 3 欠席報告、会議録署名委員氏名 ・欠席 13 番 伊澤隆一 委員、15 番 畠中 愛 委員 ・会議録署名委員に、2 番 伊藤信人 委員、12 番 北原茂人 委員を指名 4 報告事項 (1) 美和診療所医師住宅について (本庁 健康推進課から説明) ・現在の美和診療所が開所する際に、医師 2 名体制で診療を行うため建築し、しばらく医師 1 名が住んでいたが、医師 1 名体制になり退去となった。その後心理カウンセリング事業のため、カウンセラーが利用していた経緯があるが、コロナウィルスの蔓延等でカウンセリング事業が終了し、現在は使用されていない。土地、建物の売却を考えており、今回地域協議会でご説明の時間をいただいた。9 月議会で不動産鑑定と境界測量の予算要求を行い、予算がお認めいただければ、一般競争入札という形で売却したい。 なお、医師住宅の売却と美和診療所の経営は別の案件であり、美和診療所を含めた東部地区の医療体制についてはしっかりと対応していく。 (委員) ・一般住民に売却するということか。 →ご質問のとおり。一般競争入札により広く一般の方を対象に売却を予定している。 (2) 孝行猿資料館の移設について (本庁 生涯学習課から説明) ・孝行猿資料館は高坂家の一角に設置され、平成 19 年に閉館となった後、平成 22 年に南アルプス生涯学習センター「入野谷」の 2 階に移設された。令和元年の入野谷休館に伴い、現在は一般公開されていない。 ・長谷小学校では今でも孝行猿集会が行われており、事前学習で資料館を利用している。 ・今後資料館をどうしていくのが良いか。次の 3 点について意見を聞きたい。 ①どこにあるべきか。②誰に見てほしいか。③考えられる候補地は。	

(オブザーバー)

- ・資料館の移設について6月議会で取り上げた。発祥の市野瀬地区に置くか、公民館やビジターセンター等に置くか等を地域協議会で議論していただきたい。

(委員)

- ・伊那市は、今後入野谷をどうする予定か。

(南アルプス課)

→再開するにも修繕費が相当かかってしまう。方向性については現在検討中であり、まだ決まっていない。

(委員)

- ・長谷公民館は土日休館であると認識している。市野瀬公民館や仙流荘等も含めて方向付けしていただくよう提案する。

(委員)

- ・見たい人が来た場合、対応しているか。

(生涯学習課)

→休館なので、来ても見せられない状態である。

(委員)

- ・スペースがあれば長谷公民館に展示してもらいたい。

(生涯学習課)

- ・市野瀬公民館、仙流荘、長谷ビジターセンター、長谷公民館で検討しているが、それぞれ一長一短が有る。ご意見を伺いたい。

(委員)

- ・長谷村時代、(物語発祥の) 柏木の家を取得して資料館にし、家人に移転してもらう話があったが合併でなくなったという経緯がある。現在も子孫が住んでいる。

(委員)

- ・柏木の家が一番良いと思うが、防犯上の管理人が必要になる。

(生涯学習課)

- ・今日伺った意見を持ち帰り検討し、担当課とも相談の上で候補地を決定する。次回の地域協議会で再度検討をお願いしたい。11月頃までに地域協議会で承認されれば、次年度の当初予算に要求していく予定。

(3) 令和8年度協働のまちづくり交付金事業の審査結果について

(総務課から説明)

- ・今年度は1件、中尾歌舞伎保存会から応募があった。
- ・7月14日に第2小委員会で審査を行い採択という結果になったので、地域協議会として承認をいただきたい。

《質疑・意見等なし》

- ・委員全員の挙手により承認を確認

5 協議事項

(1) 杉島区の住民規模に合った組織への移行について

(自治会コーディネーターから説明)

- ・杉島区の移行について一般住民にも意見を募集したところ、全部で 25 件の意見が提出され、反対という意見もあるが、結果として 25 人中 19 人 (76%) の住民が意向に賛成であった。
- ・事前に配布した意見収集の用紙により地域協議会委員の意見を収集した結果、全員が賛成、どちらかと言えば賛成、やむを得ず賛成という意見であり、付された意見も杉島に対する応援の内容となっていた。
- ・これらの結果を踏まえ、地域協議会としては「移行に賛同する。意見は付さない。という意見で良いか決をとりたい。

《質疑・意見等なし》

- ・委員全員の挙手により、地域協議会の意見とすることを決定した。

(2) その他

特になし

6 委員提案

- ・クイーンラインの名称変更について

(提案理由説明)

- ・仙丈ヶ岳が「南アルプスの女王」というのは一昔前のイメージで、南アルプス林道バスのイメージと結びつかない。
- ・旅行会社でも名称はあまり使われておらず、登山者の会話にも出てこない。
- ・名称は、全国へ一般公募することを提案する。

《質疑等》

(南アルプス課長)

- ・資料 8 ページ右側に市の見解を記載している。令和 6 年度から使用している名称であり、更なる知名度アップのため、PR に励んでいく。

(委員)

- ・歴代の関係者が、南アルプスの女王という名称を PR してきた。名称を変えれば客が来るかは疑問。クイーンラインが良いとは言わないが、この案件は個人としてやってもらいたい。地域協議会での協議は難しいのではないか。

(オブザーバー)

- ・委員からの協議事項提案書として提出されているので、協議会で決議を採り賛成が過半数超えれば協議会からの意見として提出すればよいのではないか。

(委員)

- ・名称が決まった経緯は。

(南アルプス課長)

→林道バスで新たに分杭峠行きの運行も行うこととなり 2 系統となったため、

有識者を集め、分杭峠行きの「分杭氣の里ライン」と北沢峠行きの「クイーンライン」の名称を決定し、利用者にもわかりやすくした。

(委員)

・有識者とは誰か。

(南アルプス課長)

→観光関係者や山小屋関係者等になる。

※本日の協議会で結論が出ないため、次回協議会で再度協議を行うこととする。

7 その他

(委員)

・協議事項など委員に意見などを求める案件は、事前に資料を配布してもらいたい。説明を聞いて意見を求められても、すぐには難しい。

(総務課長)

→早めに資料を提供できるよう努める。

(委員)

・非持から非持山へ行く県道の草刈りをお願いしたい。

(農林建設課長)

→県道の管理は伊那建設事務所になるので、いただいた要望を管理者へ伝える。

8 閉会